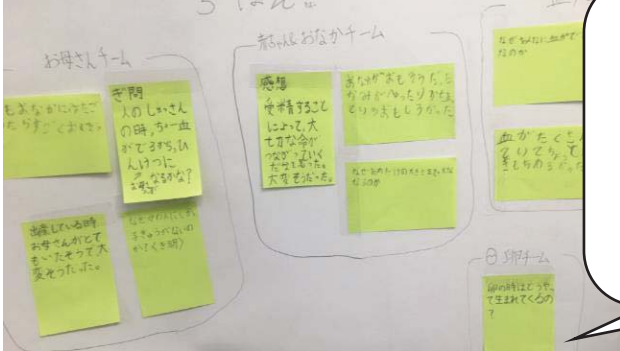



# 図書活用（図書館活用）実践

富士見台小学校 宮崎 誠

教科「単元名」(時間)	理科「ヒトのたんじょう」(全7時間)
<p>ざっくりした単元(授業)の流れ                      子どもの様子、ワークシート                      *工夫</p>	<p>1. NHK for School 『ふしぎがいっぱい 5年』 「人のたんじょう」を視聴し、ヒトの誕生について、疑問に思ったことや、調べたいと思ったことを付箋に書き、グループで交流する。</p>  <p>*子供達から出た疑問などは、付箋に書くようにし、できるだけ似ている内容でまとめることで、調べる課題を決める手掛かりにし</p> <p>2. グループで出し合ったものを学級全体で共有し、自分が調べたい課題を決める。</p> <p>3. 自分の課題について、本やインターネットで調べる。                      ○図書室のテーブル8台を、本コーナーとタブレットPCコーナーを分けて、課題に合った方法で調べる。</p> <p>4. 調べた課題ごとにグループを作り、調べたことを持ち寄って発表する。ここで、自分が調べたこと、友達が調べたことを合わせたり分けたりして発表をつくる。</p> 
<p>調べたこと整理するときには、特別な手立てをとらなかったが、なにか思考ツールを使う余地があった。(田の字やマトリックスなど)</p>	<p>選書の工夫、どんな本を使ったか</p> <p>学校の本では、「性教育」の本は扱わず「人体」にかかわる本をつかった。また、受精から出産までが一日単位で解説されている「はじめての妊娠・出産安心マタニティブック」(A.Christine Harris・永岡書店)を活用した。</p>
<p>本を活用することで、情報活用能力のどの力をねらったか</p>	<p>実践力の「あつめる力」(情報収集する力) ←メイン                      「仲間分けする力」(整理・分類する力) ←サブ(大きな手立てなし)</p>
<p>やってみての感想・その他</p>	<p>やはり、該当の図書が少ないが、そろえる際にも理科ということで科学の本が多い。今回偶然使ったが、妊婦向けの本は良いことが分かった。</p>